



回復期リハビリテーション病棟について

当院では、回復期リハビリテーション病棟入院料1の届出を行っており、内訳・実績は以下の通りです。

■ 対象期間

(2026 年 1 月 ~ 2026 年 3 月)

■ 退棟患者数 122 名

■ 退棟患者状態区分内訳

1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	72 名
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	30 名
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	0 名
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	3 名
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	17 名
6	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0 名

■ 直近の実績指数 53.29

実績指数とは、日常生活動作の評価法であるFIMを用い、入棟期間中にFIM得点（運動項目）の改善の程度を示す指標であり、当院は施設基準の40以上をクリアしております。

2026年4月

横浜鶴見リハビリテーション病院 院長

